



報告書

No. 02-01129-1

依頼者 住 所：堺市中区大野芝町 94
会社名（氏名）：宝栄産業株式会社 様

試料名（依頼者の申出による呼称）
オプティマスインテリアペイント

1 点

本所に提出された試料につき試験した結果を下記のとおり報告いたします。
平成 24 年 7 月 13 日

地方独立行政法人

大阪府立産業技術総合研究所



試験項目：繊維系消臭・ガス吸着機構評価試験、他の化学分析：一般的なもの・定量

試験方法：試験はすべて 20°C-65%RH の恒温恒湿室内にて行った。

試料調整：20°C-65%RH の恒温恒湿室内で、試料表面から高さ 10cm に設置した紫外線ランプ（松下電器産業製ブラックライト FL-15BL-B 15W）により、試料表面に紫外線（約 1mW/cm²、浜松ホトニクス製 C9536-01/H9958-01 により測定）を 5 日間照射した。

臭気ガス（初発濃度）：アンモニア（1000ppm）

ガス検知管（測定範囲）：ガステック社製アンモニア検知管 No.3M（10～1000ppm）
ガステック社製アンモニア検知管 No.3La（2.5～200ppm）
ガステック社製アンモニア検知管 No.3L（0.5～78ppm）

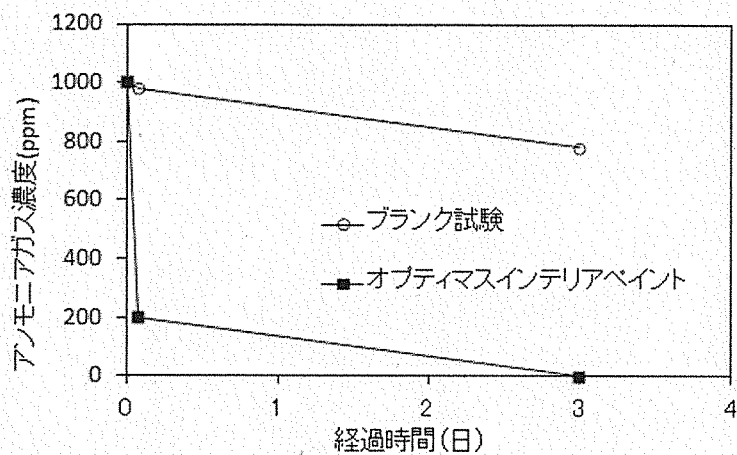
1 ロスリーブ付き 5L アナリティックバリアバッグの片隅をカットし、調整後の試料 1 枚（10cm x 10cm）をアナリティックバリアバッグに入れた後、カット部分を塞いだ。次に、真空ポンプで一度脱気してから空気 3L を積算流量計付きポンプにより注入した。最後に、臭気ガスを所定の初発濃度になるように注入した後、密閉し、静置した。蛍光灯により試料表面に可視光（約 1,000 ルクス、日置電機製 LUX HiTESTER3423 により測定）を照射し、2 時間後、3 日後のアナリティックバリアバッグ内のアンモニアガス濃度を、ガス検知管を用いて測定した。

（このページ以下余白）

2 枚の内 1 枚目

試験結果：試験は1回行った。

| | 2時間後のガス濃度 | 3日後のガス濃度 |
|-----------------|-----------|----------------|
| ブランク試験 | 980ppm | 780ppm |
| オプティマスインテリアペイント | 200ppm | 検知限度 0.2ppm 以下 |



(このページ以下余白)